

## 『生き生きとした望みを持って』 1ペテロ1:3-9

1:3 ほむべきかな、わたしたちの主イエス・キリストの父なる神。神は、その豊かなあわれみにより、イエス・キリストを死人の中からよみがえらせ、それにより、わたしたちを新たに生れさせて生ける望みをいだかせ、

1:4 あなたがたのために天にたくわえてある、朽ちず汚れず、しばむことのない資産を受け継ぐ者として下さったのである。

1:5 あなたがたは、終りの時に啓示さるべき救にあずかるために、信仰により神の御力に守られているのである。

1:6 そのことを思って、今しばらくのあいだは、さまざまな試練で悩まねばならないかも知れないが、あなたがたは大いに喜んでいる。

1:7 こうして、あなたがたの信仰はためされて、火で精錬されても朽ちる外はない金よりもはるかに尊いことが明らかにされ、イエス・キリストの現れるとき、さんびと栄光とほまれとに変るであろう。

1:8 あなたがたは、イエス・キリストを見たことはないが、彼を愛している。現在、見てはいけなけれども、信じて、言葉につくせない、輝きにみちた喜びにあふれている。

1:9 それは、信仰の結果なるたましいの救を得ているからである。

## ●序論

洗礼は、人生を新しく始めることができる。それも自分の力ではなく、イエスさまへの信仰と神の恵みによって、スタートできる。そしてその道を共に歩んでくださるのは、イエス様ご自身だ…、その確信を新たにする時です。

そして同時に、神の子とされ、死をも超えた永遠の命の約束の中に生きているとの確信に入れられる時です。

なくてはならないのは、この救いの喜びと確信です。わたしたちの人生を、そして終わりの時にも支えてくれるのは、この救いのよろこびなのだ、これが今日の結論です。

1:9 これは、信仰の結果である、たましいの救いを得ているからです。

## ●本論

## I. 神の救いをはじめとする

1:3 ほむべきかな、わたしたちの主イエス・キリストの父なる神。神は、その豊かなあわれみにより、イエス・キリストを死人の中からよみがえらせ、それにより、わたしたちを新たに生れさせて生ける望みをいだかせ、

1:4 あなたがたのために天にたくわえてある、朽ちず汚れず、しばむことのない資産を受け継ぐ者として下さったのである。

ここに語られているのは、まず「神さまがどんなことを私たちのためにしてくださったか」ということです。 それを一言で言い表すならば、すなわち「救い」です。

① 神は、イエス・キリストを死人の中からよみがえらされた。

それによって、わたしたちもまた「新しい命に生まれさせていただき生かされている」という、生き生きとした祝福の歩みを与えられたということです。

② さらに私たちは、死を経て迎えられる天において、神さまが、朽ちることも汚

れることも、そして変わってしまうこともない、つまりこの世のどんな富・宝とも異なる素晴らしい永遠の財産を、受け取る者としてくださった、ということです。

これらはすべて神さまが、信じる者に与えてくださった「救い」の真実です。

実はこれは、最初の人、アダムとエバの時、神さまから与えられていた祝福でした。それを回復してくださったことを証しするものなのです。

彼らは、サタンの巧みな惑わしの中で、神さまに背を向け罪を犯すものとなりました。そうして祝福を手放してしまったのです。

これは他人事ではなく、すべての人が共有する問題となってしまいました。

そんな私たちのために、神のひとり子イエスさまは、人となってこの地上に来られて、わたしたちの罪のために十字架で命を犠牲にし、私たちの罪を清算してくださいました。私たちは、罪ゆるされ、罪に束縛されない新しい人生いただいたのです。

そればかりか、イエスさまの復活を通して、わたしたち自身のからだのよみがえりと永遠のいのちの祝福の希望をくださったのです。

これらすべて、神さまが、わたしたちを滅びと破滅から救いたい、新しい命をもって生かしたい、祝福したいという純粋な愛によって与えられたものです。聖書ははっきりと語ります。

1ヨハネ 3:1 わたしたちが神の子と呼ばれるためには、どんなに大きな愛を父から賜ったことか、よく考えてみなさい。わたしたちは、すでに神の子なのである。

わたしたちはもはや、かつての罪や呪いを始まりとする人生からは解放されました。イエスさまを信じた時から、わたしたちの人生の土台は、神さまの愛が始まりとなり、イエスさまの救いによって新しい生きざまへと導かれているのです。

つまり、私たちの喜びの始まりは、この救いであり、その救いの完成である、滅びることない永遠の命と祝福こそが、希望です。

## II. 神のみかに守られる

1:5 あなたがたは、終りの時に啓示さるべき救にあずかるために、信仰により神の御力に守られているのである。

私たちの救いの事実を守るのは、自分の力や能力や才能ではありません。

「ただ信じることによって、神さまの御力に守られている」ということを、心にしっかり留めることです。

これは、神さまから与えられている「大きな恵み」であり、実はこれが、私たち人間が人間らしく生きるということのありさまなのです。

聖書に「ぶどうの木のたとえ」があります。

15:5 わたしはぶどうの木、あなたがたはその枝である。もし人がわたしにつ

ながっており、またわたしがその人とつながっておれば、その人は実を豊かに結ぶようになる。わたしから離れては、あなたがたは何一つできないからである。

「人がイエスさまにつながっているならば、その人は多くの実を結ぶ」とあるのです。ただイエス様にとどまること、イエス様を信じてつながっていることで、その枝は、おのずと実を結ぶようになる。それが真実です。

わたしたちが生きる今、イエスさまが語っておられたような終わりの時代に向かっています。

キリスト教の覆面を被ったカルトや偽キリストが暗躍しています。

今、そういう時代となっています。

そうであるならば、余計にそれらの出来事によって心がかき乱され、翻弄されることのないようにしなさい…と、イエスさまは言われました。

「人に惑わされないように気をつけなさい」（マタイ24章）と。

終わりに向かう、私たちのこの地上での人生で最も大切なことは何だろうか？

なにより大切なのは、ただ神さまの恵みと力を信じ、大切にして、御言葉に従い、キリストにつながり続けて生きていくということです。

聖書が語る、クリスチャンの生きざま証言は、いつでも「だれでもわたし（イエス・キリスト）のうちにあるならば、つながっているならば、とどまっているならば！」ということなのです。

-2コリント5:17-18「だれでもキリストにある（結ばれる）ならば、その人は新しく造られた者である。古いものは過ぎ去った、見よ、すべてが新しくなったのである。」

わたしたちの今の信仰生活、教会生活は、キリストの体につながり続けていくことです。

わたしたちの歩みは、その終わりの時に至るまで、信仰によってキリストに結ばれ、神の御力に守られて祝福されるものであるのです。

### Ⅲ. 神由来の喜びを知る

1:6 そのことを思って、今しばらくのあいだは、さまざまな試練で悩まねばならないかも知れないが、あなたがたは大いに喜んでいる。

1:7 こうして、あなたがたの信仰はためされて、火で精錬されても朽ちる外はない金よりもはるかに尊いことが明らかにされ、イエス・キリストの現れるとき、さんびと栄光とほまれとに変るであろう。

聖書ははっきり言います。わたしたちの信仰人生は、さまざまな試練を通して試され、きよめられ、また整えられてゆくということです。

「様々な試練」を通して、わたしたちが神さまを信頼することを学ぶと。

そうして、目の前にある問題に心がとらわれずに、神さまが約束された「永遠のいのちと祝福」へ目を向けるべきことも教えられます。

パウロもこう語ります。

ローマ5:2 わたしたちは、さらに彼により、いま立っているこの恵みに信仰によって導き入れられ、そして、神の栄光にあずかる希望をもって喜んでいる。

さらに続けてこう語ります。 ローマ5:3-5

5:3 それだけではなく、患難をも喜んでいる。なぜなら、患難は忍耐を生み出し、  
5:4 忍耐は錬達を生み出し、錬達は希望を生み出すことを、知っているからである。

5:5 そして、希望は失望に終ることはない。なぜなら、わたしたちに賜わっている聖霊によって、神の愛がわたしたちの心に注がれているからである。

ここで、悩むことも苦しみも、そのまま肯定されています。いやむしろ喜んでいますが、でもその先に、神様の愛の体験があり、それによって永遠への希望が確かなものとされて行くのです。

もし私たちが、ただ自分の力や能力、経験による判断、好き嫌いを主張し、また自分の方法を、ただ「正しい」と押し通していけば、そんなにも悩むことも悲しむこともないでしょう。

でも、そこに神さまはおられるのか？ そこにイエスさまの思いはあるのか？と問われる。それがイエスさまと共に歩む道です。

そこでもし、自分のやり方や思いを手放して、神さまに従うならば、さまざまな悩みにまさる、大きな喜びを、神様が返してくださるのです。

キリストに結ばれて生きる人生には、試練もあります。しかし試練が試練で終わらない。悩みが悩みで終わらない、悲しみが悲しみに終わらない、それが信仰者の歩みであり、喜びです。なぜか？

1:9 これは、信仰の結果である、たましいの救いを得ているからです。

あなたがキリストに結ばれたその信仰生活で、悩みまた葛藤するその葛藤さえも、そこで神さまを信頼を寄せ続けているならば、主が再び来られる日に、それは、豊かに報われます。

神さまを信頼し、イエスさまにつながり、イエスさまを心から愛して従いましょう。